

平成28年度 第2回桜井市地域公共交通活性化再生協議会 会議要旨

○ 会議概要

日 時 平成29年1月30日（月）午後3時

場 所 桜井市役所本庁 4階 第1委員会室

出席者 協議会委員11名（うち、代理出席者3名） 事務局4名

○ 会議内容

挨拶 協議会会長 笹谷 清治

議案説明

1) コミュニティバス実証運行結果について

【意見】

- （委員）コミュニティバス循環線の今後の方向性については妥当だと思うが、利用者全体のうち多くの割合を占める初瀬朝倉台線と多武峯線の実績値が目標値を大きく下回っているため、こちらを優先して改善すべき。
 - ・ （事務局）現在、両路線の利用者が減少している原因を分析しているところである。原因の一端として、両路線とも小・中学校へのスクールバスとしても運行しているため、少子化によって児童が減少することにより、定期券収入が大幅に減少していることがあげられる。
- 路線を再編する際には国庫補助の変更申請が必要となるので、必ず提出すること。

異議なく、承認される。

2) 高家デマンドタクシー実証運行結果について

【意見】

- （委員）「午前の便を利用しても、午後の便の時刻までの待ち時間が長いので利用できない」という意見を度々聞く。利用者を増加するためには、毎時運行や停車地の追加など大きな変更が必要である。
 - ・ （事務局）昨年、上之郷デマンドタクシーの停車地に買物施設を追加したことで利用者が増加したため、高家地域にも同様に追加する予定である。
 - ・ （委員）交通不便地域からデマンドタクシーを撤退するのは難しいかもしれないが、あくまでも“乗合”デマンドタクシーであるので、乗合率が悪いのであれば、毎時運行に切り替えるよりもタクシーチケットによる補助など、別の方法を考えるべきである。

- (委員) 平成29年6月からの運行は、本格運行とするのか実証運行を継続するのか。
 - ・ (事務局) 本格運行であるが、利用実績により運行計画を随時修正する。

異議なく、承認される。

3) 地方公共交通確保維持改善事業の自己評価について

【意見】

- 特になし

4) 公共交通の利用啓発について

【意見】

- (委員) 外国人向け無料周遊券を配付する際には、乗降時刻やバスの乗り方なども伝えるべきである。
 - ・ (事務局) 周遊券と共に、バスの乗り方と市内をバスで観光するモデルコースの時刻を掲載したチラシを配付している。
- (委員) 外国人向け無料周遊券は、奈良市から桜井市への移動には使うことはできないのか。
 - ・ (委員) 奈良市と桜井市を直通で結ぶバスは運行しておらず、天理駅から出発している「天理桜井線」なら使うことができる。
 - ・ (事務局) 奈良市から桜井市への移動はバスよりも鉄道の方が便利であるため、チラシにはJR奈良駅からJR桜井駅までの往復時刻を掲載している。
- (委員) インバウンド(外国人旅行者)に対応したバス停などのハード整備についての今後の予定はどうなっているか。
 - ・ (事務局) 駅前にインバウンド対応看板を設置し、また、全バス停をアルファベットと数字で示した、母国語によらない記号表記を検討している。
 - ・ (委員) 「安心して暮らせる地域公共交通確保事業」という利用環境ハード整備にも対応した奈良県の補助事業があるので、是非活用して欲しい。
 - ・ (委員) 国では訪日外国人旅行者の受入環境整備に関する補助事業も実施しているので、こちらも積極的に活用して欲しい。
- (委員) 利用啓発の一環として、交通空白地をなくすことで高齢者の運転免許自主返納を推進する取組も進めて欲しい。
 - ・ (委員) 運転免許を返納した際に発行される運転免許経歴証明書は身分証明書としても使うことができるので、この情報を活かして運転免許の自主返納を推進するべきである。

異議なく、承認される。

5) その他の意見

- (委員) 上之郷デマンドタクシーについて、月・火・金曜日の午後の便が14時であることに対し、水曜日のみ13時の便であり、利用者に混乱が発生している。また、事前連絡なしに予約をキャンセルするなど、マナーが悪くなっている。
 - ・ (事務局) ダイヤについては地元代表者と相談して再設定したいと思う。また、利用方法やマナーについては再度周知徹底を行う。

- (委員) 朝倉台などの坂の多い地域では特に高齢化が進んでおり、交通弱者が年々増加しているが、自家用車を利用したいいわゆる白タクは、既存のタクシードライバーのような訓練を十分に受けないため事故の危険性も高いので、あくまで公共交通によりカバーしていくべきである。